

病院理念 手には技術 頭には知識 患者には愛を

新小文字病院

2023.7

Vol.66

ご自由に  
お持ち帰り下さい

# はくとと

Shinkomonji Hospital

心房細動に対する新たな治療スタンダード！  
カテーテルアブレーション  
内科医長・救急科部長 冨永尚樹

手術室看護師のお仕事  
手術室

2023年度 医療連携会  
医療連携室

きむら内科クリニック  
かかりつけ医®

新型コロナウイルス感染症の  
5類感染症移行後の対応について  
安全感染管理室

小倉南区「ガクアシサイ」

はくとと Vol.66



新小文字病院を  
身近に感じる広報誌

2023年7月15日発行

企画  
社会医療法人財団池友会  
新小文字病院  
広報委員会

〒800-0057  
北九州市門司区大里新町2-5

TEL 093-3911-1001  
FAX 093-3911-7001

## 基本方針

**高度医療** 学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

**総医療** 患者と医療情報を共有し、急性期治療から早期リハビリ、在宅医療まで一貫した、患者のニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供します。

**地域医療** 地域の医療・福祉施設と密接な連携を図り、いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域医療の中核病院を目指します。

## 患者の権利と責務

- 1. 平等な治療を受ける権利があります。**  
患者は、その社会的経済的地位、国籍、人種、宗教、年齢、病気の種類によって差別されずに、平等な治療を受ける権利を持っています。
- 2. 治療を自己決定できる権利があります。**  
患者は、医師による明確でわかりやすい言葉で十分な説明を受けた後で、治療を受ける権利、あるいは治療を受けることを拒む権利があります。
- 3. 情報を知る権利と情報を提供する責務があります。**  
患者は、医師による診断・治療、または変わり得る治療方法・予後、今後予測される問題に関して知る権利を持っています。患者は、自身の症状や健康に関する正確な情報を提供し、治療に積極的に参加する責務があります。
- 4. セカンドオピニオンを受ける権利とプライバシーが守られる権利があります。**  
患者は、自分の医療内容に対して、医師と共同して選択する権利、他の医師か

- らの意見・相談を得る権利、いかなる場合であっても人格的に扱われ、患者自身の診療に関する全てのプライバシーに関して、万全の配慮を受ける権利を持っています。
- 5. 相談する権利があります。**  
患者は、十分な情報を得、利用可能な財政的支援について相談する権利を持っています。
- 6. 良質な医療を速やかに受ける権利があります。**  
患者は、効果的医療行為を速やかに行われることを要求する権利、継続的に支持、検討された質の高い医療を受ける権利を持っています。
- 7. 病院秩序を守る責務があります。**  
患者は、全ての患者が安全で良質な医療を受けられるように配慮して頂くとともに、職員が適切な医療を行うことを妨げないよう協力する責務があります。また、医療費を適正に支払う責務があります。

## 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の対応について

2019年12月に中国で端を発した新型コロナウイルス感染症は、急激な勢いで世界中に拡大しました。当院も早期に当該感染症によるクラスターを経験することとなり、対応に大変苦慮したことが思い出されます。その節は、患者、患者家族にも多大なるご迷惑をおかけしました。その後はできる限りの感染対策を暗中模索し、大きなクラスターの発生には至っていません。これも皆様のご助力の賜物と考えております。

2023年5月8日、新型コロナウイルス感染症は、新型インフルエンザ等感染症から、5類感染症の定点報告疾患に移行しました。これに伴い、法に基づく外出自粛要請等がなくなり、感染対策の実施は、個人・事業者の判断が基準となりました。しかし、今回の移行は、感染症が終息したことによるものではなく、感染力や重症度から変更となったものであり、新型コロナウイルス感染症対策が不要となったわけではありません。新型コロナウイルスによる様々な制約、ストレスからの解放を希望する気持ちも確かにありますが、病院では、一定の感染対策を継続する必要があります。個人の判断となったマスク着用についても、高齢者等重症化リスクの高い者への感染を防ぐため、病院や高齢者施設等ではマスク着用が推奨されています。手指衛生や日頃の換気等についても継続が必要とされています。

その中、当院では、少しでも制約を軽くすることが出来ないか、検討を重ね、早期に面会を一部再開するなどの取り組みを行っているところです。すべてを新型コロナウイルス

拡大前にもどすことはできないのですが、一つ一つを見直しながら、新型コロナウイルス感染症に負けない病院運営を行ってまいりますので、今後ともご協力よろしくお願い申し上げます。  
(安全感染管理室)

**医療機関、介護施設等ではマスクの着用をお願いします!**

マスクの着用は個人の判断に委ねられることになりましたが、「医療機関の受診時」「医療機関や高齢者施設等への訪問時」「通勤ラッシュ時等混雑した電車やバスの乗車時」については、マスクの着用が推奨されています。

日本医師会  
Japan Medical Association

## 診療科目 ご案内

内科 消化器内科 消化器外科 内分泌・糖尿病内科  
循環器内科 呼吸器内科 血管外科 外科 呼吸器外科  
整形外科 リウマチ科 形成外科 皮膚科  
泌尿器科 放射線科 脳神経外科 脊髄脊髄外科  
救急科 病理診断科 リハビリテーション科 麻酔科



## 交通アクセス



## 駐車場のご案内

ご来院の際は400台収容可能な駐車場をご利用ください。

- 外来受診・お見舞い  
4時間まで……………100円  
以降1時間毎に……………200円
- 検査・手術付添等に関わる長時間滞在  
8時間まで……………100円  
以降1時間毎に……………200円

**新小文字病院** 🔍 検索

E-mail: info@shinkomonji-hp.jp  
http://www.shinkomonji-hp.jp

Design NPO法人列島会  
創造館クリエイティブハウス 印刷事業部

# 心房細動に対する新たな治療スタンダード！

# カテーテルアブレーション

## 心房細動って？

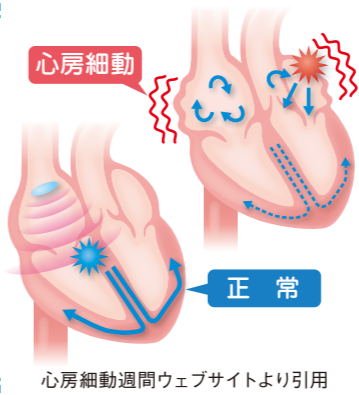
心房細動は最もありふれた不整脈の一つですが、高血圧や糖尿病と同じく、心房細動は心不全・心筋梗塞・脳梗塞・認知症・生命予後(寿命)に悪い影響を与えるとされています。加齢に伴い増加する病気です。ある統計ではその有病率は50代では1%未満ですが80代以上では10%を超えるとされています。

や失神、心不全による症状(息切れ・むくみ)を自覚することもあります。長く続くとペースメーカーが必要になる可能性も高くなります。

## 心房の役割について

人類を含めた哺乳類の心臓は高度に発達しており、効率的に血液と酸素を送るために4つの部屋(左心房・左心室・右心房・右心室)に分かれています。

心室が実際に全身に血液を送る役割を持ちます。心房は心室が収縮している間に全身からの血液を受け取って、心



心房細動週間ウェブサイトより引用

## 脳梗塞との関連について

心房は複雑な形をしています。心房細動ではこの心房が動いていないため、澱みが生じて血栓ができます。心房細動がある人は、ない人と比べ

室が拡張するタイミングで血液を送り出すことによって心室をサポートしています。それはあたかもバケツリレーのようで、心臓機能の約20%に寄与するとされています。心房細動はこの心房が痙攣している状態で実質的にはほぼ動いていないのと同じ状態です。

頻脈時や徐脈時の治療と抗凝固薬で心房細動の治療はほぼ終わり、という時代が長く続いていました。しかし、そもそも心房細動ではない状態

## 根本的治療 カテーテルアブレーション (CA)について

したがってCHA2DS2スコアというものにしたがって適切に抗凝固薬(血液サラサラの薬)を内服する必要がありま

「発作性心房細動」と、ずっと心房細動になっている「慢性心房細動」とで脳梗塞のリスクは変わらないとされています。

この状況は現在では大きく変わっています。3Dマッピングシステムという技術を用いることで術式の成功率は90%程度まで向上しています。同時に合併症も大きく減っています。

車に搭載されているカーナビは地球の周りにある人工衛星を利用して、その車の地球上での位置情報を得ています。それを事前に判明している地図情報と掛け合わせることでナビゲーションしているのです。

3Dマッピングシステムは体表面に磁気シールを貼り、事前の心臓CTと掛け合わせることで体の中で心臓カテーテルのカーナビを作っているのです。

当院では世界中で最もシェアを占めているCARTO®3システムを採用して治療に臨んでいます。これにより無症状の心房細動の方に対してもCAを行うことで、寿命を改善させる(心血管死、脳卒中、心不全や急性冠症候群による入院の複合エンドポイントに有意差)ことが明らかになっています。心臓の収縮力が落ちた方にCAを行うと収縮力がある程度改善することも確認されています。

また心房細動は長く続くと伸びきったゴム風船のようにどんどん機能を失い、元に戻りにくくなることもわかっている進行性の病気です。見つけたら早めにCAを行った方が心臓の機能が改善しやすいことも明らかになっています。

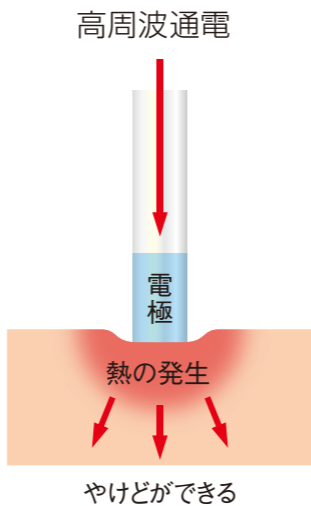
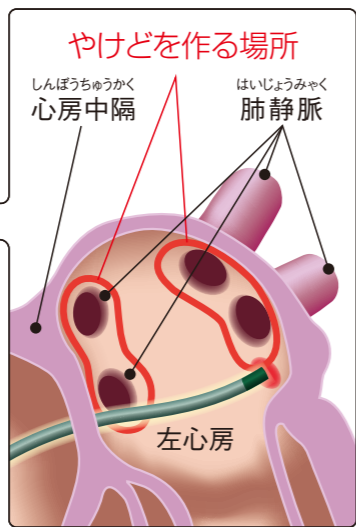
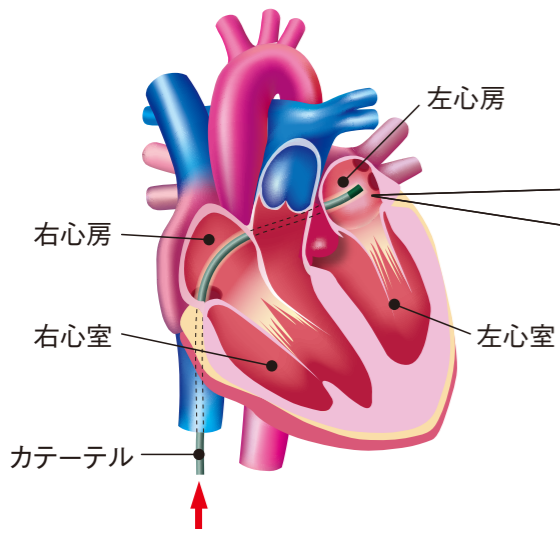
当院では概ね手術時間2〜3時間、入院日数3泊4日で治療を行っています。内科外来までご相談ください。



ジョンソン・エンド・ジョンソン社製



## 治療方法 (肺静脈隔離術)



# 手術室看護師のお仕事



## 手術室看護師の一日



手術室(オペ室)での業務は、病棟と比べて配属人数が少ないだけに、同じ病院でもどんなことをしているのかあまり詳しく知らない人も多いのではないのでしょうか。

当院の手術室は5つの勤務があります。基本的には日勤2ですが、手術開始時間や症例数によって勤務を変更しています。以下に**日勤2の業務内容**を示しました。

### 勤務形態

- 早出 (7:30 ~ 16:00)
- 日勤1 (8:00 ~ 16:30)
- 日勤2 (8:30 ~ 17:00)
- 日勤3 (9:30 ~ 18:00)
- 遅出 (10:30 ~ 19:00)

8:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 始業</li> </ul>	<p>担当手術患者の確認を行います。</p>
8:35	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 器械準備</li> <li>■ 手術室作り</li> </ul>	<p>午前中の手術で使用する器械を準備し、手術室の環境・物品などを整えます。患者さんが入室するまでの時間で、手早く準備します。KYTの実施。</p>
9:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 手術中の器械出し</li> <li>■ 外回り</li> <li>■ 術後疼痛管理チームラウンド</li> </ul>	<p>担当手術の器械出し・外回りを担当。 ※その日の手術内容で前日に管理者が担当者を決定します。 術後疼痛管理チームが前日の手術患者の痛みの状況を確認し、鎮痛剤の調整を行います。</p>
11:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 休憩</li> </ul>	<p>午前中の手術が何時に終わるかによって、休憩の時間帯も変わります。</p>
13:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 手術中の器械出し</li> <li>■ 外回り</li> </ul>	<p>担当手術の器械出し・外回りを担当。 ※その日の手術内容で前日に管理者が担当者を決定します。</p>
16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 術前訪問</li> <li>■ 術後訪問</li> </ul>	<p>翌日、手術を受ける予定の患者さんを訪れ、パンフレットを用いて注意点や麻酔内容等の説明を行います。また全身状態の確認を行い、不安なことがないか尋ねます。</p>
17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 終業</li> </ul>	

### 手術室の体制

当院の手術室は看護師が21名在籍しており、手術室5部屋で9つの科に対応しています。

当院の手術室は、日勤のみで日祝日は休みのため比較的ワークライフバランスが確保しやすいと思います。ただし、24時間365日緊急手術に対応しており、夜間帯は3名の看護師のオンコール制をとっているため緊急手術に備えて急な呼び出しに対応できるようにならなければならず、完全に気を抜くことはできません。オンコールは1人あたり月に6回から7回あります。

手術室では緊張状態のまま長時間立ちっぱなしでいることも多く、身体的にも精神的にも負担の大きな現場です。一方で、特定の診療科に限定されない知識や、チームワークよく手術を終えられたときの充実感など、手術室看護師だからこそ得られるものも少なくありません。

### 仕事内容について

手術室看護師の主な仕事は**器械出し看護と外回り看護**です。

**器械出し看護の役割**  
手術の様子をうかがいながら執刀医が必要とする器械を素早く、かつ正確に手渡し、手術を直接的にサポートする。

手術の進行は術式や患者さんの状態などにより左右されるため、いかなる状況にも対応できる冷静沈着な精神と、その裏付けとなる確かなスキルが求められます。

器械出し担当の看護師がもたついでしまうと、手術の進行が妨げられ、結果的に患者さんの負担を増やすことに繋がります。先回りして正確に動く必要があるため、術式に関する知識はもちろん、医師とのコミュニケーションも重要です。

器械そのものも日進月歩で進化しており、最新の知識を吸収し続けなければなりません。

**術前オリエンテーション**  
術後のケアを通して患者さんの不安を取り除く。

**外回り看護師の役割**  
器械出し以外の部分で手術の円滑な進行をサポートする。

術前の麻酔物品や輸液ラインの準備、術中・術後の記録、看護計画の立案。  
手術前には患者さんのものとへ訪問し、患者さんの状態を把握した上で手術に関する質問の受け答えや手術に不安を抱える患者さんの精神面のケアを行う。

手術直前には、必要な医療機器や薬品を用意するほか、病棟勤務の看護師からの申し送りをもとに患者さんの状態を再確認。手術中は患者さんの全身を観察し、物品の補充を行います。

充やカウント、記録や環境整備などを行う。

**術前訪問**  
医療機器の準備や温度調整、患者さんの体位変換や全身状態の確認、手術の記録を行う。

広い視野で手術全体の進行を把握し、他の医療スタッフとの連携をとる。

**術後訪問**  
手術前日に担当看護師が病室まで訪問する。

専用のパンフレットを用いて前日までお願いしたいことや麻酔導入までの流れを説明します。また患者さんの要望等も伺います。例えば、寒がりなので寒くないようにしてほしい、好きな音楽をかけてほしい等です。手術内容によりご希望に添えない場合もあります。出来る限り対応できるように努力します。

**術後訪問**  
手術後2日目または3日目

術後の経過の確認や手術当日のご意見等を伺います。頂いたご意見等は他患者にもしっかり還元してまいります。

**術前カンファレンス**  
通常の手術では、担当看護師が術前訪問や術前情報を元に話し合いを行う。

**術後疼痛管理チーム**  
所定の研修を受講し、審査に合格した看護師・薬剤師・臨床工学技士・麻酔科医で構成されている。

術後の痛みや他症状について手術当日または翌日から術後3日目までラウンドを行い、痛みの状況を確認し、鎮痛剤の調整などを行います。

# 医療連携会

2023年度



少しずつ平常の生活に戻ってきたつあるなか、6月27日(火)18時半よりステーションホテル小倉において会場開催とオンライン開催のハイブリット形式にて医療連携会が開かれました。出席者は約126名にのぼり、日頃、患者様をご紹介いただくなど連携を深めています。連携会は関係者と当院医療スタッフとの交流と勉強会を兼ねて開かれたもので、地域の医療機関や介護施設への情報発信、先生方や医療関係者との意見交換の時間となりました。

まず初めに遠山副院長が「本日は、当院の医療連携会にご参加ありがとうございます。新小文字病院が門司へ移転して15年。当時から一貫して目指したのは、いま困っている人たちをいち早く診てあげたいということ。そのためには総合力、機動力、チームワークが大切で、その集大成が救急医療だと思っています。救急医療というのは、救急車のイメージが強いが、外来に来る方も診ますし、救急車の対応もいたします。さらにはこのよう

な症例でも、診られるものは全て診るとというのが病院の方針です。その中で、皆様にとつての大事な患者様を預かるうえで、十分な対応の際の厳しいご意見が、またいい医療ができたときのお誉めの言葉が、私たちの励みになります。当院は、若いスタッフも多く、行き届かぬ点も多いと思いますが、皆様の大事な患者様方を丁寧診ながら、急性期病院として、安定した稼働を先生方にお願ひし、外来と救急の両診療ともスムーズに進められるよう、新小文字病院は努力を惜しまず、皆様から高い評価をいただけるよう、頑張りたいと考えています。

本日は、いま私たちが目指している医療の4演題と看護部と医療技術部からも1演題ずつを発表させていただきました。そして本日は、日頃私たちが行っている医療を聞いていただき、是非とも皆様方の大事な患者様をご紹介いただければと思いますので、今後ともよろしくお願ひ致します。」と開式の挨拶をしました。この後、血管外科兼循環器科

部長山田医師の「当院で治療可能な血管疾患」に続いて、整形外科部長佐藤医師の「ロボット手術について」、次に内分泌糖尿病内科部長河原医師の「臨床研究と原発性アルドステロン症について」、最後に外科部長石田医師が「肥満症手術」についてそれぞれ診療科紹介を行いました。

次にリハビリテーション科が「訪問リハビリ」について、看護部が「RSチームの取り組み」についてを紹介しました。また、4月に着任した看護部長前山の挨拶に続き、新任医師紹介、新研修医紹介を行いました。最後に宗副院長より「皆様大変お忙しいなか、ご参加いただきありがとうございます。」と、当院での新たな取り組みについて、医局部門からは4題、新たな血管外科の立ち上げと世界的な研究、さらには北九州地区で最初に取り入れたロボット、そして肥満症に対する胃のスリーブ手術といった高度治療などを、また、看護部、リハビリ科からも現在、力を入れていることを紹介いたしました。今後も当院は地域医療を第

一に皆様と手を繋ぎながら、急性期医療を支えていただくといいことで、引き続き密な連携をお願ひしたいと思います。当院は、入院・退院支援看護師、ソーシャルワーカーを多数配置して手厚いフォローを行うように心がけています。今後も、この方針は堅持してまいりますので、引き続き、地域の皆様のご指導をよろしくお願ひ致します。」と閉式の挨拶を行いました。

「コロナ禍により対面で会う機会が減っていたため、今回は会場に参加した方々との名刺交換・情報交換の場として30分間の懇親会が開かれ、和やかな雰囲気の中で活発な意見交換が行われました。」

医療連携室

## かかりつけ 医紹介 ③⑥



### 「きむら内科クリニック」が新築移転

「木村内科医院」から「きむら内科クリニック」へ名称変更

新築移転に伴って、新たな思い、意気込みについて

皆さま、こんにちは。当院は新小文字病院から車で東に3分の場所にある内科のクリニックです。高血圧・糖尿病などの生活習慣病、風邪・感染性腸炎などの急病疾患、花粉症・喘息のアレルギー疾患などを中学生以上から診療しております。健康診断や予防接種、通院が困難な方への訪問診療も行っています。

父が開業して45年が経過し、6月26日から新築移転し診療を持っています。より親しみやすさを持っていただけるよう、「きむら内科クリニック」へ名称を変更しました。また、笑顔と思いやりの気持ちを持つことで、皆さまの幸せの芽が出て育ち、次第に病氣も治り元気になって頂ける様に地域医療で貢献していく、との意味合いを込めて新たにロゴマーク

を作りました。スタッフ一同で定期的な研修を行い、皆さまが通院しやすい環境づくりを常々心がけています。

### 新たな設備、機器の導入について

バリアフリー設計による段差の解消、土足仕様になりました。足の不自由な方や移動が困難な方が院内で使用出来る車いすをご用意しています。開放感のある吹き抜けの待合室、リラックスして検査が受けられるような色彩の選択など緊張なく受診して頂ける様な院内環境にしています。テレビモニターを利用してクリニックの診療内容、健康や病氣の様々なプログラムを放映することで、気になる症状や検査があれば、診察室ですぐに相談出来るようにしています。

現金のみでなくキャッシュレス決済が行える自動精算機の導入、バリアフリートイレやベビーチェアを設置して誰で

も利用しやすい様に努めています。

電子カルテとエックス線装置・EKG・心電図等を院内LANでつなげており情報が円滑に運ばれるため、電子カルテ内で患者さまと結果を共有しながら説明しています。自動血球計数装置や血糖分析装置を導入しており数分程度で採血結果が出るため、受診当日に病状の説明と治療方針を決定することが出来ます。

### 地域の方へメッセージ

住み慣れた地域でいつまでも元気に生活して頂くためには健康寿命の延伸が必要です。当院では特定健診等を利用して身体のチェックと必要に応じて生活習慣の見直しの提案を行っています。また、未然に病気を防ぐために身体の中から健康と美しさを保つためのサポートも行っています。お気軽にご相談ください。

## きむら内科クリニック



**院長** 木村 英一  
**住所** 〒800-0031 福岡県北九州市門司区高田1-7-1  
**TEL** 093-381-1445  
**診療科** 内科  
**アクセス** JR門司駅 徒歩3分 西鉄バス 門司駅前停留所 徒歩3分  
 西鉄バス 門司駅前停留所 徒歩3分  
 駐車場 あり(4台)  
 ホームページ <https://www.kimura-n-clinic.com/>

